

＜発表題＞

～ 受け継がれた先人の思い ～

御所小学校初代校長より

発表者； 会員 高橋 司

今年度、雫石町初の統合小学校として開校した御所小学校の校歌には、大村小学校、南畑小学校、安庭小学校の校歌の一部が取り入れられています。本校で進めている「岩手の先人教育」の宮沢賢治の学習に際しては、お呼びした外部講師の関敬一さんから、大村小学校の校歌の作詞者である儀府成一さんが宮沢賢治と親しかったことについても触れていただき、儀府成一さんが作った宮沢賢治の弔辞をあわせて紹介していただきました。

その後、関さんから情報をいただき、儀府成一さんの奥様は藤本雪子さんであり、安庭小学校の先生を勤めていたこと、お兄様は伝久の高橋吉三郎さんで安庭小学校第14代校長をなさっていたこと等を知ることができました。

さらに、藤本雪子さんが勤めていた当時の安庭小学校第13代校長の曲谷地武さんは、戦前は安庭小学校の先生として、戦後は校長として激動の時代に覚悟をもって職に奉じた方であることを知り、同じ教育者として退職間際になり自分との隔たりの大きさに我が身を恥じる毎日であります。

つきましては、私の今の思いを、拙い発表ではありますが会員の皆様にお届けいたしたく、発表いたします。



栗石町立御所小学校
校歌

七澤英貴 作詞
平井秀明 作曲

一 ゆかりゆかしい 御所の地に
北に仰ぐは 岩手山

湖水のほとり 学び舎で

大きな夢に 歩み寄り

歴史の雫 御所小学校

みんなやさしく かしこく学ぼう



二 土のかおりも こちよく
走るわれらは たくましく

ひかりのように ほがらかな

うぐいすの声 谷渡り

歴史を拓く 御所小学校

みんな明るく 笑顔で歩もう



三 御所のみなもと みなみ川
雪解けの水 春を呼ぶ

希望のあかり かけよう

とわにふるさと 輝いて

歴史を刻む 御所小学校

みんな元気に 未来に進もう



校長として、6年間実践してきた
「岩手の先人教育」、最後の今年

新渡戸稲造

石川啄木



藤原清衡



宮沢賢治



「宮沢賢治と牽石」の授業

本校5・6年42名に H29.12.6(水)

講師:本史談会事務局長 関敬一さん



宮沢賢治と親しかった儀府成一

儀府成一について

生まれは、御所小学校の近くの伝久(現在のローソン)です。小さい頃に大村に養子に行きました。(幼い頃の名前は、藤本吉四郎)

宮沢賢治よりも10歳も年下でしたが、詩を通じて親しくなりました。賢治が亡くなった時には、すぐに駆けつけ、弔辞をつくりました。

儀府成一は、著書の中で、「イーハトーブ」の地は牽石であるといっています。

御所小学校に受け継がれた想い

大村小学校の校歌の作詞者は儀府成一です。御所小学校の校歌には、一番に安庭小学校、二番に南畑小学校、三番に大村小学校の歌詞の一部が入っています。儀府成一の想いが御所小学校の校歌にしっかりと受け継がれています。



儀府成一さんの奥様

藤本雪子さん

安庭小学校の先生

昭和23.8.31~27.5.31

在任期間:3年9ヶ月



儀府成一さんのお兄様

安庭小学校第14代校長

高橋吉三郎先生



第14代 高橋吉三郎校長 自昭和23年4月1日
至昭和27年5月31日



昭和28年度職員

藤本雪子さんの上司

安庭小学校第13代校長

曲谷地武先生



第13代 曲谷地 武校長 自昭和26年5月1日
至・27年4月1日

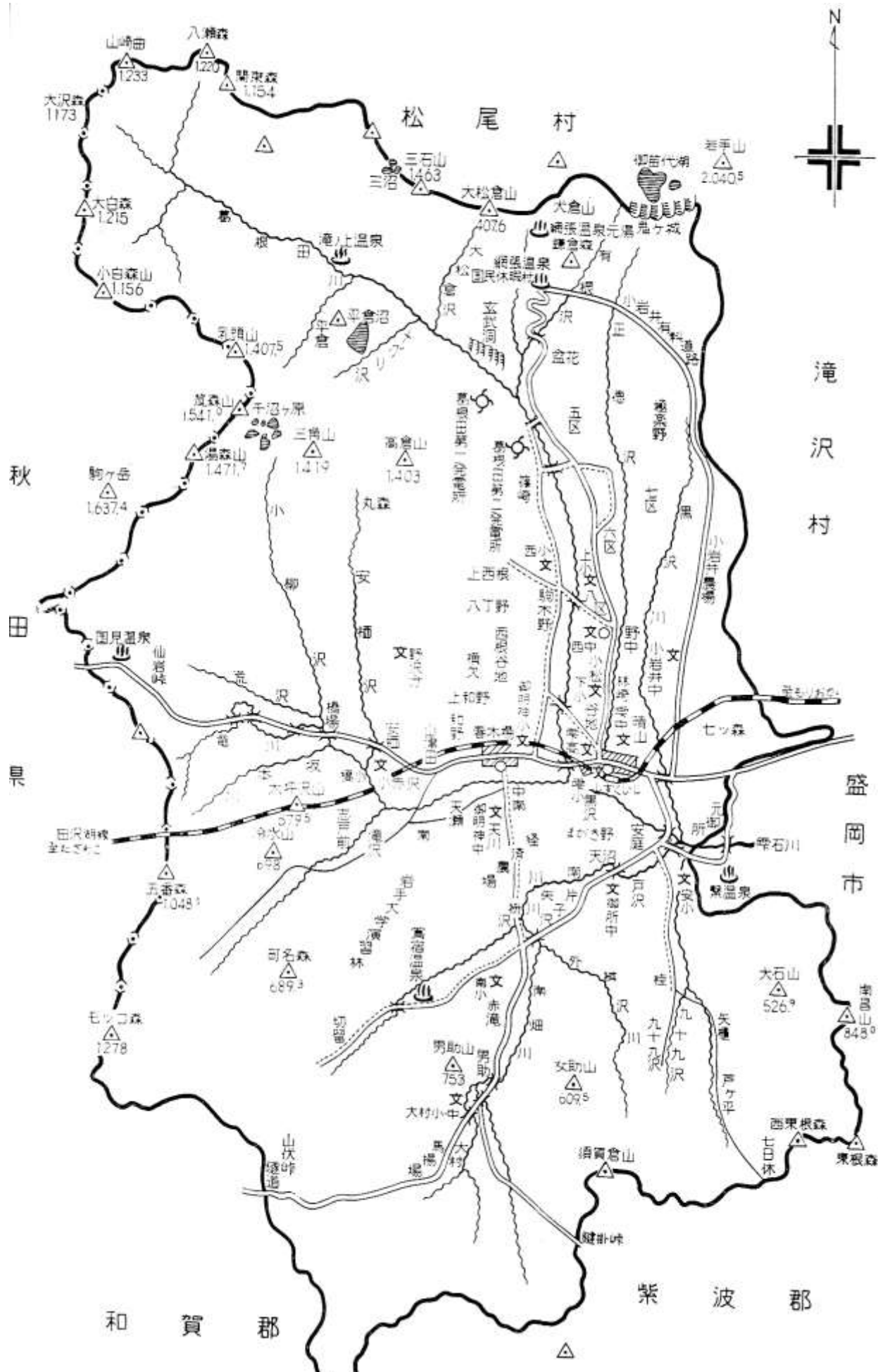


昭和26年度卒業生



昭和27年度修学旅行スナップ写真





昭和48年頃に作成された地図 (安庭小学校百年誌より)